

株式会社イツミ

■平成24年度テーマ

衣料仕上プレスの加圧コテ型の機械加工化

■平成24年度概要

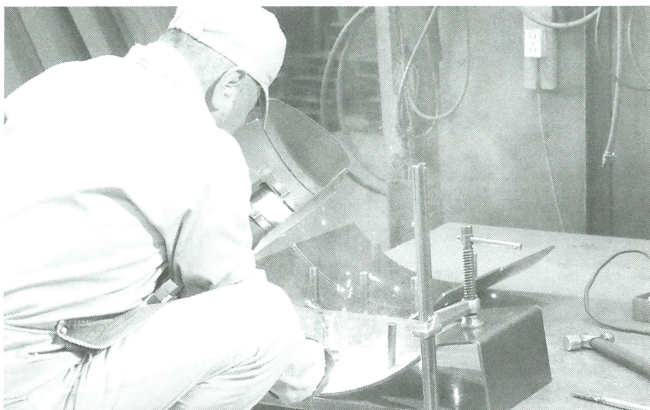
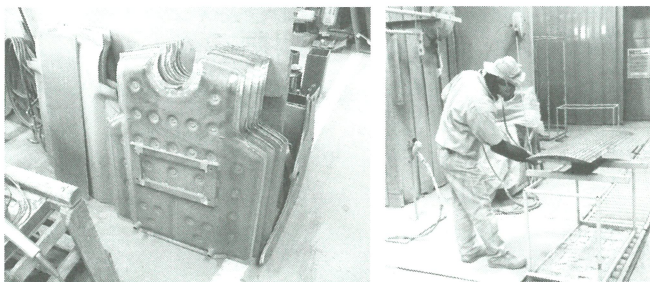
衣類仕上プレス機の加圧コテ型は、手作業の板金加工にて、製作されている。マシニングセンターを導入し機械加工化することにより、新規形状の開発期間の短縮、密着性の向上、低コスト化を実現する。将来的には、電子形状データーを活用した加工形状の改良を進め、手直し不要な高品質プレス機の新たな市場の獲得を図る。

■平成24年度分類

- ＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資
- ＜競争力強化の形態＞ 生産プロセス強化型
- ＜22分野技術＞ 切削加工

■事業の概要と成果

衣類仕上プレス機の加圧コテ型を機械加工化することにより、開発納期短縮、密着性の向上を実現する事を目的に事業を行った。マシニングセンターの導入だけでは、効果が少なく、溶接ロボットの導入も行い、密着性の向上等一定の効果を確認できた。事業化には、複雑な三次元形状のコテ型にも対応できるようにすることが課題である。



■平成25年度テーマ

小ロット化の為の板金加工機の導入による医療介護用ベットマットレス洗濯乾燥機の開発

■平成25年度概要

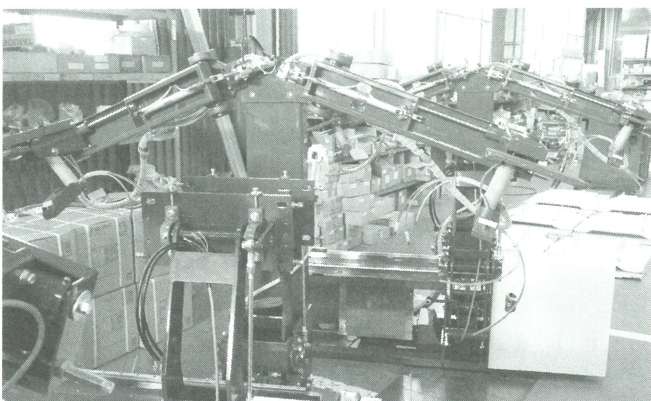
医療機関、福祉施設で使用する介護用ベッドマットレスは洗浄手段に乏しく、高衛生性の実現への高いニーズがある。しかし、従来の大量生産型洗濯機器とは異なる小ロット化が課題である。NCプレスブレーキ等の板金加工機の導入により、多品種少量生産に対応した低コスト化技術の向上を図り、市場性のある革新的な洗浄機器を開発し、高衛生な寝具を使用できる医療介護環境を実現する。

■平成25年度分類

- ＜対象類型＞ 【ものづくり技術】
 - 機械制御
 - 精密加工
- ＜事業類型＞ 成長分野型
 - 試作開発＋設備投資
 - 健康・医療

■事業の概要と成果

板金加工機の導入により、多品種少量生産に対応した低コスト化技術の向上を図り、市場性のある革新的な洗浄機器の開発を目的に事業を行った。ほぼ想定していた機構の装置は完成したが、マットレスの洗浄中において、マットレスが想定外の挙動を示すために、汚れが偏り洗浄がうまくできない現象が発生していることが分かり、基本的な設計変更を行うなど、今後開発をさらに進める予定である。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社イツミ（原村）

業務用衣料仕上機の内製一貫生産で、あらゆるニーズに応える世界のトップブランド。

ほとんどを内製する一貫生産体制

1枚100円代で仕上がるワイシャツのクリーニング。その安さと仕上がりの早さは、クリーニングの現場に導入されている優れた業務用衣料仕上機のおかげです。イツミは業務用衣料仕上機の専門メーカーとして世界の業界にインパクトを与え続ける会社です。



3次元金型製作用マシニングセンター

同社はクリーニングプレス機、縫製プレス機の開発・設計・製造メーカーとして創業。以来、クリーニング工場用各種機器、縫製工場用各種機器に加え、福祉業務用洗浄・消毒・乾燥各種機器、産業用プレス機器、新産業用乾燥機・高温炉、コインランドリー用各種機器と、「熱と蒸気を制御する技術」を活かした製品開発を展開しています。

1990年には世界初の全自動ワイシャツロボット仕上機の開発、量産に成功し、世界で高い評価を獲得。競合メーカーへの積極的なOEM供給営業も功を奏し、業務用衣料仕上汎用プレス機では現在、世界トップクラスのシェアを誇ります。また、自動車のエアバッグをコンパクトに折り畳む機械や、布（原反）に柄を転写する機械など、製造ラインに組み込まれる産業用プレス機器でも高い評価と実績を上げています。

同社最大の特徴は、企画・開発・設計から板金加工、塗装、組立まで、ほとんどを内製する一貫生産体制。五味淳社長は「完全内製のメリットは小ロット・多品種・短納期に対応できること」と話し、こう続けます。

「200機種ある標準品は受注後1カ月で納品できる。さらに新規開発も積極的に行っています。今後は熱、蒸気、プレスというコア技術をベースに、クリーニングやアパレル以外の分野を伸ばしていきたいと考えています」

3次元金型の機械加工に挑戦

最新型の全自動ワイシャツロボット仕上機の仕事

業は、1枚わずか1分足らず。まさに最先端技術の粋を集める製品群ですが、仕上げるの根幹に関わる部分は技術者の技がモノをいう世界でもあります。



微妙な形状を実現する技術者の技

肩や襟を仕上げるのに必要な3次元金型も、実は数少ない熟練職人が一つ一つアルミを手で叩きだして仕上げています。しかし職人の高齢化が進み「危機的



プレス機の生産ライン

状況にある」のが実情だとか。その危機感から、ものづくり補助金でマシニングセンターを導入し、金型の3次元データを活用した機械加工化に着手。職人不足への対応はもとより、金型精度をより高めていこうと取り組んでいます。

「成果は上がっている。職人対策はもちろん、それにとどまらず、より高品質な仕上がりを実現する高級プレス機の開発に結びつけたい」。五味社長は未来を見すえ、トップブランドとしての新たな提案をめざしています。



株式会社イツミ

代表者 代表取締役社長 五味 淳
創業 1961（昭和36）年7月
資本金 2,800万円 従業員数 40人
本社 諏訪郡原村11865



TEL.0266-79-2331 FAX.0266-79-2721
事業内容 プレス機・乾燥機・縫製機器の開発・設計・製造